

平成21年度 地域包括支援センター専門委員会 開催報告

【活動報告と今後の進め方について】

1 開催状況

	開催日	主な内容
第1回	7 / 30 (木)	<ul style="list-style-type: none">・地域包括支援センター専門委員会の委員及び副委員長の指名について・地域包括支援センター運営委員会の設置趣旨について・地域包括支援センターの運営状況と課題について・専門委員会の今後の進め方について

2 主な協議内容

(1) 地域包括支援センター運営委員会の設置趣旨について

地域包括支援センター専門委員会の設置目的・所掌事務について説明

地域包括支援センター及び介護予防評価専門委員会での検討事項について報告

- ・平成19・20年度は、自己点検、運営方針策定の仕組みについて検討した。
- ・第三者評価のあり方が、今後の課題として残されている。

(2) 地域包括支援センターの運営状況と課題について

- ・相談件数 231,077件(19年度:186,437件 約1.2倍の伸び)
- ・20年度の傾向として、「電話」による相談件数が増加している。

【委員の意見(主なもの)】

- ・「訪問」「電話」による相談の増加は、センターの場所の不便さも原因ではないか。
- ・現状の課題として、人員体制や人事異動のあり方、地域との連携のあり方、職員の質の確保などがあるのではないか。

(3) 委員会の今後の進め方について

- ・第三者評価のあり方については、平成19・20年度に策定した自己点検の指標を踏まえ、過去の実態調査の結果や他都市の取り組みなどを参考に検討していくこととする。

【委員の意見(主なもの)】

- ・直営であることを前提とした評価が必要である。
- ・設立当初からは状況が変化してきており、地域包括の役割や仕組み自体の見直しが必要ではないか。
- ・ワーキンググループによる集中した議論が必要ではないか。
- ・アンケート等により、関係者から幅広く意見を聴くことも必要ではないか。